

<事務局報告>

1. 2023（令和5）年度第3回理事会（Web 併用開催）

2024年（令和6）年2月16日午後1時15分より日本SPF豚協会の事務局にて理事会を開催した。

出席者（順不同，敬称略）：小林秀樹会長，下山安副会長，大角貴幸副会長，櫻井忠，伊野奈緒（Web），谷田部隆（Web），海野晃好（Web），北島克好，浅井鉄夫（Web），柴野正治，高橋吉男（Web）（事務局），小林一彦（事務局）ほか委任状2名。

審議事項 ①第1号議案 2023年度予算の執行状況について，②第2号議案 2024年度事業計画及び予算作成の方針について，③第3号議案 2024年度研究集会のテーマと講師について，④その他として規約に定期総会の開催を毎年6月末までとあるのを毎年1回と改定することをそれぞれ討議した。その結果 2024年度の会費納入など順調で概ね予算計画どおりであること。2024年度の総会と研究集会を7月に開催し ALL about SWINE を9月と2月に発刊すること。5月（稟議開催）および7月に理事会を，10月および2月頃に理事会と編集委員会を開催すること。2024年度予算は2023年度と同様に30万円を別会計から繰り入れて予算案を作成すること。2024年度の研究会は7月5日にAP東京八重洲で開催すること。講演内容と講師は・アフリカ豚熱に関すること（伊藤聡氏 鹿児島大学），アニマルウェルフェアに関すること（新村毅氏 東京農工大学），家畜改良センターでのアニマルウェルフェアに関する豚での取り組みについて（伊野奈緒氏 家畜改良センター），2023年度日本SPF豚協会年次報告（日

本SPF豚協会）で，各演者をお願いする。会則の変更を次回総会に諮ることとした。

2. 2024（令和6）年度第1回理事会（稟議開催） 期間 2024（令和6）年5月10日～17日

2024年度総会の議案について，理事会の承認を得るべく稟議で理事会を開催した。

稟議の方法は2024年5月10日に各理事及び幹事に対して e-mail で資料と共に議案を提示し e-mail で賛否と意見を求めた。

審議事項 ①第1号議案 2023年度事業報告と決算の理事会の承認，②第2号議案 2024年度事業計画案の理事会承認，③第3号議案 2024年度予算案の理事会承認，④第4号議案 会則の一部変更の理事会承認，⑤第5号議案 理事の変更及び副会長の選出について提案した。期日とした5月17日（金）までに反対意見はなく，議案1から5号までの議案はいずれも理事会の承認を得た。

3. 2024（令和6）年度第2回理事会および ALL about SWINE の編集委員会（Web 併用開催）

2024年（令和6）年7月5日午後1時より AP東京八重洲（7階Pルーム）にて理事会を開催した。

出席者（順不同，敬称略）：小林秀樹会長，下山安副会長，渡辺剛士副会長，渡辺秀樹，櫻井忠，小柳理恵子，伊野奈緒，北島克好，浅井鉄夫，柴野正治，高橋吉男（Web）（事務局），小林和彦（事務局）ほか委任状2名。

審議事項 ①今回は決議すべき予定の議案はなく，事務局から当日の総会及び研究会の進行について説明があった。②今後の理事会の開催予定が事務局より示された。

編集委員会では ALL about SWINE 65号の内容について協議し，第32回研究会の講演内容の他にいくつかの原稿を依頼することとした。

4. 2024（令和6）年度 定期総会（出席会員数42名（うち20名はWebでの議決権行使者））

2024（令和6）年7月5日午後2時15分よりAP東京八重洲（Pルーム）にて定期総会を開催した（オンライン併用）。小林会長を議長に選出し、①第1号議案2023年度事業報告及び決算報告、②第2号議案2024年度事業計画、③第3号議案2024年度予算案、④第4号議案会則の一部変更、⑤第5号議案理事の変更について事務局の説明に基づき審議され、いずれも原案通り承認された。

第1号議案 2023年度事業報告及び決算報告
2023年6月13日第1回理事会を開催（オンライン併用）、9月会誌ALL about SWINE 63号発行、10月30日第2回理事会および編集委員会開催、同日総会及び第31回研究会開催（オンライン併用）、2024年2月会誌ALL about SWINE 64号発行、2月16日第3回理事会開催（オンライン併用）、決算書（資料1参照）

第2号議案 2024年度事業計画 2024年5月稟議にて理事会を開催、7月5日理事会および編集委員会開催、同日、定期総会及び第32回研究会開催、2024年9月ALL about SWINE 65号発行、10月第3回理事会開催、2025年2月第4回理事会開催およびALL about SWINE 66号発行

第3号議案 2024（令和6）年度予算案（資料2参照）

第4号議案 会則の一部変更 「6. 総会及び理事会（1）定期総会は毎年1回6月末までに会長によって召集されるものとする。」とあるのを今回のコロナ禍の様な突発時に備え6月末までに、を削除し「6. 総会及び理事会（1）定期総会は毎年1回会長によって召集されるものとする。」に変更する。

る。」に変更する。

第5号議案 理事の変更

退任理事（副会長）

大角貴幸氏（全農家畜衛生研究所）

新任理事（新副会長）

田中剛士氏（同上）

退任理事

海野晃好氏（静岡県畜産技術研究所
中小家畜研究センター）

新任理事

矢島秀歌氏（同上）

新任理事

小柳恵理子氏（日本農産工業(株)
畜産技術センター）

退任理事

谷田部隆氏（茨城県畜産センター養豚研究所）

5. 第32回日本SPF豚研究会

2024年（令和6）年7月5日総会終了後に同場所で以下の講演をオンラインとの併用で開催した。

①「令和5(2023)年度日本SPF豚協会年次報告」

日本SPF豚協会 小林一彦氏

②「アニマルウェルフェアの世界的動向と持続可能な動物生産」東京農工大学 新村 毅氏

③「分娩前の母豚への巣材の提供について」家畜改良センター 伊野奈緒氏

④「世界におけるアフリカ豚熱の流行状況と日本への侵入リスクについて」

鹿児島大学共同獣医学部附属

南九州畜産獣医学教育研究センター

伊藤 聡氏

各講演の内容はALL about SWINE65号に掲載する。